

🍎 認知症の症状

大きく中核症状（認知機能障害）と
BPSD（周辺症状）に分かれます。

中核症状

記憶障害、失語、失行、失認
見当識障害、遂行機能障害

物の名前が出てこない

物の置き忘れやしまい忘れが目立つ

時間や場所の感覚が不確かになった

同じことを何回も言ったり聞いたりする



BPSD

不安・焦燥、幻覚、妄想
うつ症状、徘徊、暴言・暴力

慣れている場所で道に迷った

財布やお金、物品を盗まれたと言う

以前はあった興味や関心が薄れた

ささいな事で怒るようになった



🍎 言語聴覚士に ご相談ください♪

右下のQRコードから、青森県言語聴覚士会の
ホームページがご覧になれます。

「ST所属施設」の項目から、“小児”“成人”
“疾患別”に、対応可能なSTが所属する施設の
検索が可能です。

また、直接ご相談がござい
ましたら、ホームページ内の
“お問い合わせ”フォームへ、
ご連絡下さい。



言語聴覚士にお任せ下さい。



【青森県言語聴覚士会 事務局】

〒030-0913

青森県青森市東造道2-1-1

青森県立中央病院リハビリテーション科内
事務局宛

TEL : 017-726-8188

FAX : 017-726-8325

にんちしょう 認知症



一般社団法人 青森県言語聴覚士会

🍎 認知症とは？

認知機能が、後天的な脳の障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたした状態です。認知症の原因となる病気は多岐にわたり、それぞれ症状も違います。代表的なものを紹介します。

アルツハイマー病

認知症の原因で最も多く、脳の神経細胞が障害され、脳が萎縮します。症状はもの忘れから始まります。



血管性認知症

脳の血管が詰まったり、破れて出血したりして、神経細胞が障害されます。無気力・無頓着になったりします。



レビー小体型認知症

神経細胞にレビー小体というたんぱくを主成分とする物質がたまり、細胞が死滅します。幻視が出現したりします。



前頭側頭型認知症

脳の前頭葉や側頭葉が萎縮します。わが道を行くような行動がみられます。※他にもこれらの症状が複数生じる「混合性認知症」などもあります。

🍎 認知症の方への関わり方

認知症の方は感情は忘れません！



- 笑顔を心がけましょう。
- 相手を尊重し、やさしい言葉で話しましょう。
- 思い出せない時はせかさず、ゆっくりとした態度で接しましょう。
- 間違いは否定せず、正しい内容をさりげなく補ってあげましょう。
- 2つ以上のことは難しくなるため、伝えたいことは1つずつ伝えるようにしましょう。

会話のポイント！



- 昔のことはよく覚えていますので、子供の頃や、若い頃の話は会話がはずみます。
- 時間の感覚が難しくなるため、季節感のある話や、日課に合わせた話をするのもよいでしょう。
- その場の状況から推測できる内容だと理解しやすいです。

🍎 認知症チェック

- 置き忘れが増えていつも探し物をしている
- 同時に2つの作業を行うと、1つを忘れる
- いつも日にちを忘れている
- 人に聞かれた内容がよくわからない
- 何を話していたかすぐに忘れる
- 最近聞いた話やニュースを繰り返すことができない
- 薬を管理してきちんと内服することができなくなった
- 以前より家事や作業に手間取るようになった
- 興味や関心が薄れ、趣味などをやめてしまった
- 前よりも怒りっぽくなり、疑い深くなった

これらに当てはまる場合は認知症の可能性もあります。

認知症の治療は、症状に合わせた薬の使用や適切な介護、リハビリテーションが中心になります。

🍎 認知症が疑われたら…

まずは、かかりつけの病院や認知症専門医のいる病院を受診しましょう。言語聴覚士は他の職種と連携を図り、ご本人やご家族をサポートいたします。

